

進路だより

スキルアップ 第3号

青森県立八戸高等支援学校 進路指導部 令和8年7月6日発行

6月1日（月）～6月12日（金）までの10日間、産業科1学年は、「校内実習」を実施しました。この校内実習は、後期に実施する産業現場等における実習へ向けて、長期間作業する体験を通して働くことへの意欲や態度を育てることを目的としています。

専門教科の3つのコース（環境サービス・オフィスサービス・フードサービス）での作業を体験することで、様々な作業内容を知り、働くことへの意欲を高めました。また、例年実施していたオオハンゴンソウの駆除活動は、近隣での熊の出没により中止となったものの、清掃実技研修や鮫駅清掃など、実際に地域の方々と関わりながら活動に取り組むことで、地域環境や公共の施設を大切にする気持ちや働くための知識や技能を高めることができました。

2学年、3学年は同期間で産業現場等における実習を実施し、各種事業所の協力のもと、自分自身と向き合いながら、働くことについて考える良い機会となりました。

産業科1年校内実習の様子

清掃実技研修



太平ビルサービスの方々にお越しいただいて、清掃用具の専門的な扱い方を学びました。

鮫駅の清掃



実習内容：学習した清掃技術を使って窓清掃、駅舎内の清掃、トイレ清掃、花壇・駐車場清掃を行いました。

環境サービスコース、オフィスサービスコース、フードサービスコース



実習内容：接客、食品加工、ダスターがけ、水モップがけ、窓清掃、印刷、丁合、配布、会場設営等

食堂清掃



実習内容：毎日利用する食堂の清掃を行いました。テーブルや床、窓、配膳車が停まる通路など、役割を分担し、これまでに学習した清掃技術を生かして、隅々まで丁寧に清掃しました。

【校内実習を通して成長したことは？】～1 学年 16 名の振り返りの記録から～

- ・自分から仕事を見つけられるようになった。
- ・次の授業に向けて、切り替えができるようになった。
- ・返事や反応をすることができるようになった。
- ・周りを見て動くことができた。
- ・困ったときに、相談できるようになった。
- ・時間に余裕をもって動けるようになった。
- ・道具を丁寧に扱うことができてよかった。
- ・役割分担をすることによって、作業をより早く終わらせることができることが分かった。
- ・先生に指示を出される前に、自分から実習ノートを書くなど、時間をうまく使えるようになった。
- ・大変だったこともあったけど、まずはあきらめないことと、集中することが大事だと分かった。
- ・実習の朝と帰りのスケジュールを覚えて、自分から取り組めるようになった。
- ・早く丁寧に窓清掃ができるようになった。
- ・嫌なことでも自分から進んでできるようになった。
- ・目標通りに、決められた時間でしっかり集中することができた。
- ・手順書を見て、自分で清掃できるようになった。
- ・3 階から 1 階まで何度も行き来し、ある程度の体力が身に付いた。
- ・自分から先生のところに行って、報告できた。
- ・汗の始末を忘れずに行うことができた。



担当：今回の実習で得た学びや気づきは、皆さんの成長を支える大切な力になります。後期は、現場実習があります。この経験を自信につなげ、後期の実習でも一歩ずつ前進してしてほしいです。

〈産業 2 年 前期実習の振り返りより（清掃）〉

私は、清掃会社で実習をさせていただきました。実習では、ビルの窓やトイレ清掃などをしました。臨機応変に対応できたことや常に声のトーンを明るくして話すことができました。特にトイレ清掃では、従業員の方と同じペースで仕事を取り組めた実感があり、とてもやりがいを感じました。今回の実習を通して、長い時間継続して働くための過ごし方を身に付けられるように、休憩時間を活用してストレッチなどに取り組んでいきます。

〈巡回担当より〉

巡回時は階段の窓拭きを行っていました。2 週目の火曜日の巡回でしたが、1 週目で業務内容や雰囲気慣れたこともあり、余裕をもって作業に取り組んでいると感じました。昨年の課題の克服とともに自分の新たな強みを見付けられた実習になったと思います。日々の学習に加えて、今回気付いたことを普段の生活や学習に取り入れて頑張りたいです。